

## 第 35 回(令和 6 年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験) 学科試験における不適切問題について

本年 7 月 28 日に実施した学科試験の科目『聴覚障害者に関する基礎知識』及び『国語』に不適切問題があったため、以下の措置をとる。

### 記

#### ○対象問題(1)：科目『聴覚障害者に関する基礎知識』問 13

13 大学入学共通テストの外国語教科英語科目リスニング試験においては、I C プレーヤーに付属するイヤホンを使用する方法をとっている。令和 6 年度「受験上の配慮案内」で、聴覚障害のある受験生への配慮として認められていないものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 別室で C D プレーヤーのスピーカーから直接音声を聞く。
2. 補聴器や人工内耳のコネクターに、持参したコードを接続する。
3. F M 電波や Bluetooth などの補聴援助システムの無線通信機能を使用する。
4. リスニング試験が免除される。

○採点上の取扱い：全員に得点を与える。

○理由：当初、選択肢 3 を正答としていたが、正答が存在しないことが判明したため。

#### ○対象問題(2)：科目『国語』問 19

19 「お持ちする」と異なる種類の敬語が使われている文を、下の中から一つ選びなさい。

1. ご利用いただきありがとうございます。
2. お手紙、拝読いたしました。
3. すぐに召し上がりますか。
4. 私が先に参ります。

○採点上の取扱い：全員に得点を与える。

○理由：当初、選択肢 3 を正答としていたが、正答が複数あることが判明したため。